

# セットアップマニュアル

## RadiForce® MX270W

カラー液晶モニター

はじめに

設置／調整

こんなときは

### 重要

ご使用前には必ず使用上の注意、このセットアップマニュアルおよび取扱説明書（CD-ROM 内）をよくお読みになり、正しくお使いください。  
このセットアップマニュアルは大切に保管してください。

### ユーザー登録のお願い

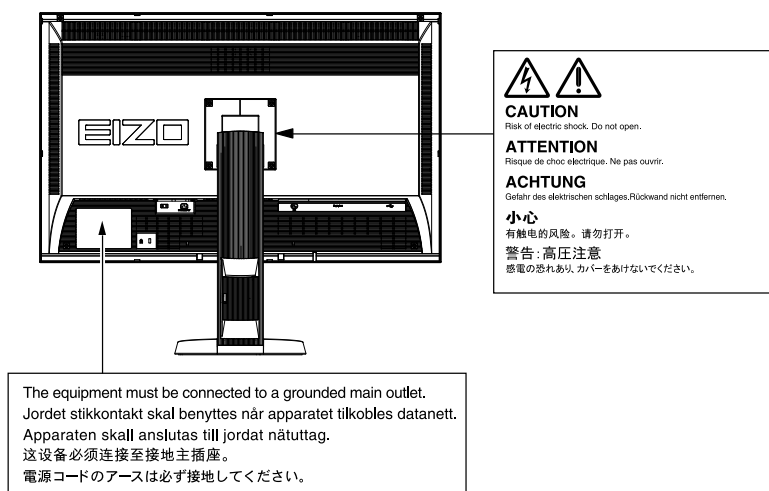
このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、ユーザー登録をお願いいたします。

登録方法：当社の Web サイトからオンライン登録  
次のアドレスにアクセスし、ご登録ください。

<http://www.eizo.co.jp/registration/>



## 警告表示位置



## 表示解像度について

この製品は次の解像度に対応しています。

○：対応

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック	DVI	DisplayPort
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	242 MHz (最大)	○	○
640 × 480	VGA	60 Hz		○	○
800 × 600	VESA	60 Hz		○	○
1024 × 768	VESA	60 Hz		○	○
1280 × 1024	VESA	60 Hz		○	○
1600 × 1200	VESA	60 Hz		○	○
2560 × 1440	VESA CVT RB	60 Hz		○	○
2560 × 1440	Single Link 8bit	40 Hz		○	—

## 本体に使われている記号について

記号	意味
○	主電源スイッチ： この製品の主電源をオフにします。
	主電源スイッチ： この製品の主電源をオンにします。
⏻	電源ボタン： この製品の電源をオンまたはオフにします。
~	交流
⚡	危険警告・感電
⚠	注意： 使用上の注意内、「絵表示について」参照

Copyright © 2011-2013 EIZO 株式会社 All rights reserved.

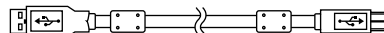
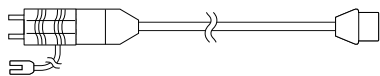
- 本書の著作権は EIZO 株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を EIZO 株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

## 梱包品の確認

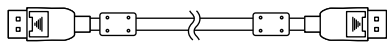
次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはEIZOサポートにご連絡ください。

### 参考

- 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。
  - モニター本体
  - 電源コード（二芯アダプタ）
  - EIZO USBケーブル：MD-C93

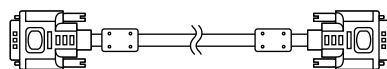


- デジタル信号ケーブル（DisplayPort）：PP200

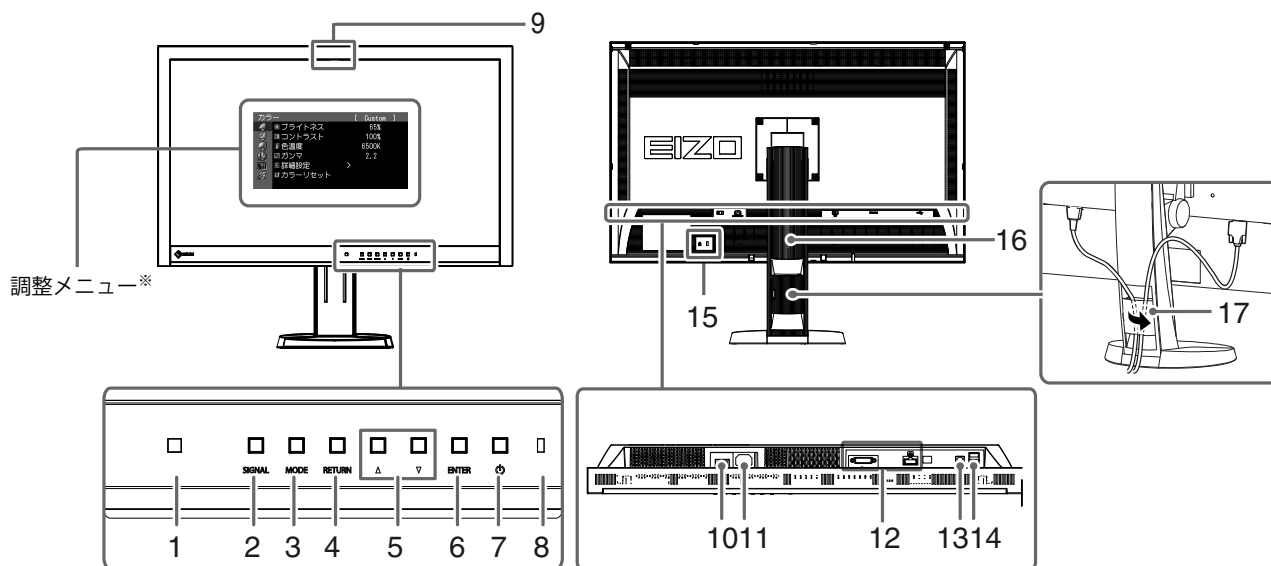


- EIZO LCDユーティリティディスク（CD-ROM）
- セットアップマニュアル（本書）
- 使用上の注意
- 保証書（梱包箱に添付）
- 出荷試験報告書
- お客様ご相談窓口のご案内

- デジタル信号ケーブル（Dual Link）：DD200-DL



## 各部の名称と機能



1. 照度センサー	RadiCS/RadiCS LEの照度変化監視機能で使用します。詳細は、「RadiCS/RadiCS LE取扱説明書」（CD-ROM内）参照してください。
2. SIGNALボタン	表示する入力信号を切り替えます。
3. MODEボタン	CAL Switchモードを切り替えます。
4. RETURNボタン	調整/設定をキャンセルしたり、調整メニューを終了します。
5. ▲▼ボタン	調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。
6. ENTERボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
7. ⏻ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
8. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：画面表示、橙：省電力モード、消灯：主電源/電源オフ
9. Integrated Front Sensor（スライド式）	キャリブレーションや階調チェックで使用します。
10. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. 信号入力コネクタ	左：DVI-Dコネクタ/右：DisplayPortコネクタ
13. USBアップストリームポート	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します。
14. USBダウンストリームポート	USBに対応している周辺機器と接続できます。
15. 盗難防止用ロック	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
16. スタンド	高さや角度が調整できます。
17. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※ 使用方法は取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

# 接続する

## 注意点

- ・コンピュータ、周辺機器の電源は切った状態で接続してください。
- ・今まで使用していたモニターをこの製品に置き換える場合、コンピュータと接続する前に対応解像度表を参照（表紙の裏）して、コンピュータの設定を、必ずこの製品で表示できる解像度、垂直走査周波数に変更しておいてください。

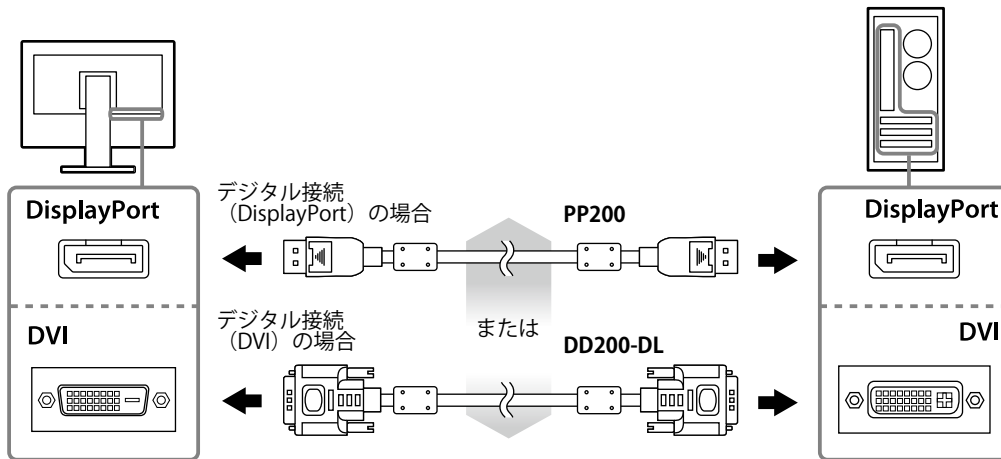
## 参考

- ・この製品に複数のコンピュータを接続する場合は、取扱説明書（CD-ROM内）を参照して接続してください。

## 1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

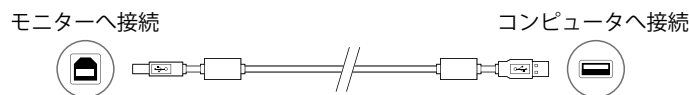
コンピュータのコネクタの形状を確認して、ケーブルを接続してください。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ねじを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。



## 2. 付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

## 3. RadiCS LEまたはScreenManager Pro for Medicalを使用する場合には、USBケーブルを接続します。



## 4. 電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。

モニターの電源ランプが青色に点灯します。

## 5. コンピュータの電源を入れます。

画面が表示されます。

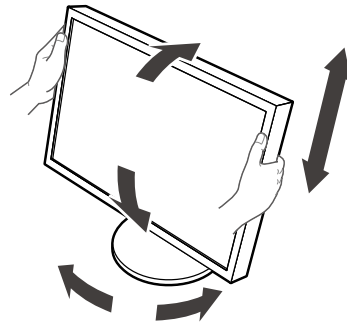
電源を入れても画面が表示されない場合には、「画面が表示されない場合には」（P.7）を参照してください。

## 注意点

- ・使用後は、電源を切ってください。
- ・完全な省電力のためにはモニターの電源を切ることをお勧めします。主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

## 高さ、角度を調整する

モニターの左右を両手で持ち、画面の高さや上下左右の角度を作業に適した状態になるように調整します。

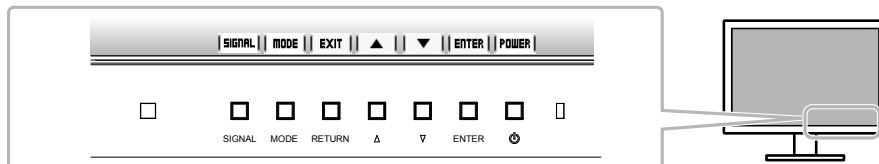


### 注意点

- ・ ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。

## ボタンガイドを表示する

フロントボタン（ $\text{\textcircled{P}}$  ボタンを除く）を押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。



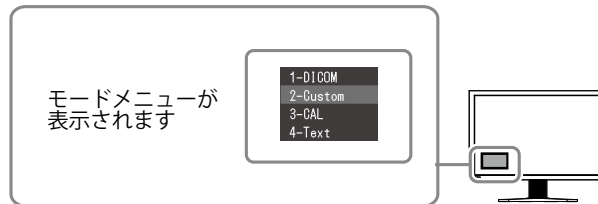
### 参考

- ・ 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ・ ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。

# 表示モードを選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モード	目的
1-DICOM	DICOMで表示したい場合に選択します。
2-Custom	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
3-CAL	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。
4-Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。



## 設定方法

1. MODE を押します。  
モードメニューが画面左下に表示されます。
2. MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。  
モードメニュー表示中は、▲または▼を押してモードを切り替えることもできます。



# モニターの品質管理

このモニターには、品質管理ソフトウェア「RadiCS LE」（Windows用）が付属しています。キャリブレーションをおこない、その履歴を管理したい場合には、「RadiCS LE取扱説明書」（CD-ROM内）を参照してインストールしてください。内蔵のIntegrated Front Sensorを使用し、モニター単独で定期的にキャリブレーションや階調チェックをおこないたい場合には、RadiCS SelfQC機能を使用してください。詳細は取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

## 注意点

- RadiCS LEを使用する場合には、モニターとコンピュータをUSBケーブルで接続する必要があります。

## 参考

- 医療規格に対応した高度な品質管理をおこないたい場合には、別売のモニター品質管理ソフトウェアキット「RadiCS UX1」を使用してください。

# 画面が表示されない場合には

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

症状	原因と対処方法
<p><b>1. 画面が表示されない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ランプが点灯しない</li> <li>電源ランプが点灯：青色</li> <li>電源ランプが点灯：橙色</li> <li>電源ランプが点滅：橙色、青色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードは正しく接続されていますか。</li> <li>主電源を入れてください。</li> <li>⏻を押してください。</li> <li>主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。</li> <li>調整メニューの「ブライツネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください。</li> <li>SIGNALで入力信号を切り替えてみてください。</li> <li>マウス、キーボードを操作してみてください。</li> <li>コンピュータの電源が入っていますか。</li> <li>DisplayPort接続している機器に問題があります。問題を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。詳細はDisplayPort接続している機器の取扱説明書を参照してください。</li> </ul>
<p><b>2. 次のようなメッセージが表示される</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信号が入力されていない場合の表示です。 例：</li> </ul> <div data-bbox="316 853 627 1055" data-label="Image"> </div>	<p>この表示はモニターが正常に機能しているにもかかわらず、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出ないため、左のような画面が表示されることがあります。</li> <li>コンピュータの電源が入っていますか。</li> <li>信号ケーブルは正しく接続されていますか。</li> <li>SIGNALで入力信号を切り替えてみてください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例：</li> </ul> <div data-bbox="316 1167 627 1406" data-label="Image"> </div> <p>fD：ドットクロック fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「表示解像度について」参照）。</li> <li>コンピュータを再起動してみてください。</li> <li>グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。</li> </ul>

こんなときは

